

会派行政視察報告書

- ◇ 1月22日（水）
「袋井市立聖隷袋井市民病院」
新病院開院後の旧病院の活用について

- ◇ 1月22日（水）「掛川市」
新病院開院後の旧病院の活用について

2014年2月

知多市議会「市民クラブ」

視察報告書

日 時	平成 26 年 1 月 22 日（水）午前 10 時から正午																																				
視 察 先	静岡県袋井市立聖隷袋井市民病院																																				
視 察 項 目	新病院開院後の旧病院活用について																																				
視 察 者	市民クラブ（小坂 昇、夏目 豊、向山孝史、荻田信孝、島崎昭三、古俣泰浩）																																				
視 察 内 容	<p>袋井市では、中東遠総合医療センター開院後の旧袋井市民病院の利活用について、「袋井市保健・医療・介護構想」（平成 23 年 1 月策定）を取りまとめていた。</p> <p>その背景として、① 新病院は、最新の医療技術を取り入れた急性期医療の充実を図ることができる反面、近隣市を含めた療養病床が慢性的な空き待ち状況であること。② 市民生活の安心を第一に考え、利用者が医療と介護の継ぎ目を感じることがないように、また、医療と介護の間で困ることのないよう、医療と介護の連携を重視した包括的な治療・ケアのあり方を考える必要があること。③ この他、予防医療や介護予防、医療費や介護費の抑制を図るためにも効果的な健康増進施策をより一層推進していくことが必要であること。④ 今後高齢者数の増加が予想され、一人暮らしの高齢者や高齢者夫婦世帯が増加していくことを踏まえ、介護予防の推進に加えて、要支援・要介護状態になった時の在宅生活支援のあり方を考える必要があること、が挙げられており、こうしたことから、新病院の建設を機に、保健・医療・介護のあり方が「袋井市保健・医療・介護構想」として策定された。</p> <p>○旧袋井市民病院を利活用した袋井市総合健康センターの整備スケジュール</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">センター名</th> <th>開設時期</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">医療</td> <td>外来・検診センター</td> <td>平成 25 年 6 月</td> <td>総合内科、脳神経外科外来</td> </tr> <tr> <td>一般病床（50 床）</td> <td>平成 25 年 6 月</td> <td></td> </tr> <tr> <td>療養病床（50 床）</td> <td>平成 26 年秋</td> <td>旧西館の増改築</td> </tr> <tr> <td>回復期リハビリ（50 床）</td> <td>平成 28 年春</td> <td>旧西館の増改築</td> </tr> <tr> <td>休日夜間救急センター</td> <td>平成 26 年 4 月</td> <td></td> </tr> <tr> <td>保健</td> <td>健康指導センター</td> <td>平成 27 年 4 月</td> <td>袋井保健センター移転</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">介護</td> <td>健康（福祉）支援センター</td> <td>平成 27 年 4 月</td> <td></td> </tr> <tr> <td>福祉協議会（ボランティアセンター）</td> <td>平成 27 年 4 月</td> <td>社会福祉協議会の移転</td> </tr> <tr> <td>在宅療養支援センター</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			センター名		開設時期	備考	医療	外来・検診センター	平成 25 年 6 月	総合内科、脳神経外科外来	一般病床（50 床）	平成 25 年 6 月		療養病床（50 床）	平成 26 年秋	旧西館の増改築	回復期リハビリ（50 床）	平成 28 年春	旧西館の増改築	休日夜間救急センター	平成 26 年 4 月		保健	健康指導センター	平成 27 年 4 月	袋井保健センター移転	介護	健康（福祉）支援センター	平成 27 年 4 月		福祉協議会（ボランティアセンター）	平成 27 年 4 月	社会福祉協議会の移転	在宅療養支援センター	—	
センター名		開設時期	備考																																		
医療	外来・検診センター	平成 25 年 6 月	総合内科、脳神経外科外来																																		
	一般病床（50 床）	平成 25 年 6 月																																			
	療養病床（50 床）	平成 26 年秋	旧西館の増改築																																		
	回復期リハビリ（50 床）	平成 28 年春	旧西館の増改築																																		
	休日夜間救急センター	平成 26 年 4 月																																			
保健	健康指導センター	平成 27 年 4 月	袋井保健センター移転																																		
介護	健康（福祉）支援センター	平成 27 年 4 月																																			
	福祉協議会（ボランティアセンター）	平成 27 年 4 月	社会福祉協議会の移転																																		
	在宅療養支援センター	—																																			
所 感	<p>本市と袋井市の大きな違いは、中東遠総合医療センターの建設と並行して、「袋井市総合健康センター」構想を検討したことである。また、県の医療圏に対する考え方の相違もあり、新病院の 500 床とは別に、従来の病床数を後方支援病院として活用できる点であった。とりわけ、中東遠総合医療センターの後方支援病院としての役割である療養病床や回復期リハビリ病床の設置は、旧袋井市民病院を利活用しており、さらに公設民営で運営している点は、知多市民病院の今後の利活用の観点から大いに参考となった。</p> <p>また、現在の袋井市立聖隷袋井市民病院の運営は、聖隷福祉事業団に指定管理されている。その内容は、一般病床、療養病床、回復期リハビリ病床で合計 150 床を民間病院とし経営しているものだが、健康センターとしての複合施設でもあるため、建物の改築費用を始めとするイニシャルコストも必要である。こうした財政面からの検討の必要性を含め袋井市の視察から知多市民病院の利活用に関し、多くの考え方を習得することができた。今後検討される旧知多市民病院の利活用に向けて、この視察で得た教訓を積極的に提言していく考えである。</p>																																				

視察報告書

日 時	平成 26 年 1 月 22 日（水） 13 時 30 分から 15 時 30 分																																														
視 察 先	静岡県掛川市役所																																														
視 察 項 目	新病院開院後の旧病院活用について																																														
視 察 者	市民クラブ（小坂 昇、夏目 豊、向山孝史、荻田信孝、島崎昭三、古俣泰浩）																																														
視 察 内 容	<p>掛川市は、袋井市との病院統合による中東遠総合医療センター開院後の旧病院の活用について「健康医療日本一のまちづくり」の中核ゾーンとして位置付け、医療、保険、福祉、介護、教育に関する施設を集積した「希望の丘」として、官・民の力により総合的な整備を図っている。</p> <p>この構想の背景には、中東遠総合医療センターが機能を発揮するための後方連携体制整備の必要性、特別支援学校施設の狭あい化の解消と児童生徒の通学負担の軽減・学童保育の確保、重症心身障がい児（者）を受け入れる施設整備の必要性、特別養護老人ホーム・介護老人保健施設建設の必要性、在宅生活を総合支援するための地域拠点の整備、待機児童の解消、一次救急を受けやすい医療環境整備の必要性等があった。整備費用は、県・民間 90 億円、市 16 億円の総額 106 億円を投じて、「希望の丘」として整備を図っている。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ゾーン</th> <th>名称</th> <th>事業主体</th> <th>規模</th> <th>開設時期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">A</td> <td>(仮称) 静岡県掛川地区</td> <td rowspan="2">静岡県</td> <td>小中高は45学級、 定員は170～</td> <td rowspan="2">H27. 4</td> </tr> <tr> <td>特別支援学校</td> <td>180人程度</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">B</td> <td>掛川東病院</td> <td rowspan="2">医療法人社団 綾和会</td> <td>病院240床</td> <td rowspan="2">H27. 4</td> </tr> <tr> <td>桔梗の丘（老健）</td> <td>老健100床</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">C</td> <td>重症心身障がい児（者）</td> <td rowspan="2">社会法人 和松会</td> <td rowspan="2">定員20人程度</td> <td rowspan="2">H26. 4</td> </tr> <tr> <td>通所施設</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">D</td> <td>特別養護老人ホーム</td> <td rowspan="2">社会福祉法人 湖星会</td> <td rowspan="2">定員100人</td> <td rowspan="2">H27. 4</td> </tr> <tr> <td>認可保育所</td> <td>社会福祉法人 春献美会</td> <td>定員120人</td> <td>H27. 4</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">E</td> <td>中部ふくしあ</td> <td>掛川市</td> <td rowspan="3">障がい児学童保育 施設 定員20人</td> <td rowspan="3">H27. 4</td> </tr> <tr> <td>急患診療所</td> <td>掛川市社会福 祉協議会</td> </tr> <tr> <td>障がい児学童保育施設 他</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				ゾーン	名称	事業主体	規模	開設時期	A	(仮称) 静岡県掛川地区	静岡県	小中高は45学級、 定員は170～	H27. 4	特別支援学校	180人程度	B	掛川東病院	医療法人社団 綾和会	病院240床	H27. 4	桔梗の丘（老健）	老健100床	C	重症心身障がい児（者）	社会法人 和松会	定員20人程度	H26. 4	通所施設	D	特別養護老人ホーム	社会福祉法人 湖星会	定員100人	H27. 4	認可保育所	社会福祉法人 春献美会	定員120人	H27. 4	E	中部ふくしあ	掛川市	障がい児学童保育 施設 定員20人	H27. 4	急患診療所	掛川市社会福 祉協議会	障がい児学童保育施設 他	
ゾーン	名称	事業主体	規模	開設時期																																											
A	(仮称) 静岡県掛川地区	静岡県	小中高は45学級、 定員は170～	H27. 4																																											
	特別支援学校		180人程度																																												
B	掛川東病院	医療法人社団 綾和会	病院240床	H27. 4																																											
	桔梗の丘（老健）		老健100床																																												
C	重症心身障がい児（者）	社会法人 和松会	定員20人程度	H26. 4																																											
	通所施設																																														
D	特別養護老人ホーム	社会福祉法人 湖星会	定員100人	H27. 4																																											
	認可保育所				社会福祉法人 春献美会	定員120人	H27. 4																																								
E	中部ふくしあ	掛川市	障がい児学童保育 施設 定員20人	H27. 4																																											
	急患診療所	掛川市社会福 祉協議会																																													
	障がい児学童保育施設 他																																														
所 感	<p>希望の丘は、大変うらやましい構想である。幼児から高齢者までがそのニーズに応じて利用できる旧病院跡地の一帯整備には感服した。</p> <p>とりわけ、医療社団法人「綾和会」が運営する掛川東病院（200床）と老人保健施設の桔梗の丘（100床）の医療と介護が、隣り合わせで運営されるということは、家族にとっても大変安心でき、素晴らしいことではないかと思う。</p> <p>また、特別養護老人ホームと認可保育所も隣同士での運営となる。ホームの入居者も自分の孫やひ孫のような子どもたちの顔が見えることから、毎日の楽しみとなり、より元気に過ごすことができるのではないだろうか。</p> <p>こうした希望の丘構想に示されている、医療、保健、福祉、介護、教育の一体的市民サービスが今、行政に求められているのではないかと考える。</p> <p>我が市においても、掛川市のように施設を1か所に整えることも必要かもしれない。施設整備の民間活用といった点は、参考になる事例であり、西知多総合病院開院後の療養や回復期リハビリへの支援として大変参考となった。</p>																																														